

**栗柄神宮寺「あじさいトイレ」完成  
栗生地区観光振興の拠点として整備**

栗柄町の神宮寺駐車場に観光客用の「あじさいトイレ」が完成し、19日、施主の栗田光仁住職や施工業者、行政、地元関係者など20人余りが出席して竣工式を行った。

屋外トイレは、広島県観光連盟がコロナ禍でのデジタル技術を使った観光振興を図るため設けた補助金を活用し、府中市が残り5分の1を負担して地元負担なしで建設し



児童1枚1枚の絵を色調補正し、遠くから見ると巨大なアジサイが浮び上がるモザイクアート。参加者から感嘆の声が。

た。広さ80㎡で男女のトイレの他、多目的の「おもてなしトイレ」を併設。正面にはアジサイをイメージしたステンドグラスを配し、道路から見える裏側には栗生小児童が描いたアジサイの絵を使った巨大なモザイクアート

が施されている。また左右の側面にも架け替えできるギャラリースペースを設け、ここにも児童の絵が飾られている。また同寺境内の府中神宮寺郷土館内には、観光案内をするデジタルサイネージが設置された。

栗田住職は「施工した武田組とタテシ広美社の技術とアイデアのおかげで大変立派なものになった。周囲の自然ともよく合っており、大変感

謝している。このトイレを起点とし、アジサイに限らず歴史や文化が豊かな栗生地域により多くの観光客を迎え、地域を発展させていきたい」と挨拶した。

児童代表でモザイクアートの除幕式に参加した崎里<sup>さきむら</sup>壮太君(栗生小6年)は「みんなが頑張ったアジサイの絵が、こんなすこい、でっかいアジサイの絵になって、みんなに見てもらえて嬉しい」と感動していた。



栗田住職(左端)らがテープカット